

講義名	対)研究演習		
講義コード	55404	授業形態	開講期・曜日・時限 通年 金曜日 5時限
担当教員	大島 秀武	備考	

学部・学科	演習分野
人間健康学科	健康体力学

概要説明

「運動を科学する」をテーマに「運動・スポーツが人々の健康づくりにどのように貢献できるのか」について考えていきます。「スポーツ」としても、「競技スポーツ」、「健康スポーツ」、「生涯スポーツ」、「レクリエーションスポーツ」、など、いろんなスポーツがあります。また、「健康」という言葉も単に病気でないというだけでなく、身体的側面や精神的側面などあらゆる捉え方が必要です。子どもからアスリート、高齢者まで、一人ひとりの目的に応じた運動・スポーツの実践・指導・評価方法について研究していきます。

主な卒業論文のタイトル

野球のポジション別に見た体格・体力特徴の違い  
バットスイングのスピードと部位別筋肉量との関係性  
階段歩行による筋力トレーニング効果  
自主活動グループ所属高齢者の体力特徴  
高齢者のスクエアステップエクササイズにおける各パターン遂行速度の特徴  
リュックサックを背負った坂道歩行時の生体負担に関する研究  
子どもの基礎体力およびコーディネーション体力の性差  
指タッピングによるリズム特性について

教員よりの要望

運動することが好きな人、スポーツを観ることが好きな人、自分の疑問・興味を深く追及してみませんか？「腹筋運動をするとお腹はスリムになるの？」、「運動は朝にすると夜にするとどちらがいいの？」、一つひとつの素朴な疑問を深く分析し、解決する力を身につけることが必要です。ゼミを通じて身体と頭を使い、自分をアピールできる人になってほしいです。

選考方法

演習申込書および面接によって選考します。

評価方法
出席、課題（レポート、プレゼンテーションなど）、ゼミ活動に対する積極性などから評価します。

教員英字氏名	研究室
Yoshitake Oshima	5 4 3 2 研究室

最終学歴
大阪市立大学大学院 後期博士課程修了

学位
博士（学術）

主な研究活動・社会活動・研究業績

現在の研究テーマ  
肥満者の身体組成評価および減量方法に関する研究  
日常生活の身体活動量測定に関する研究

<最近の論文発表>  
加速度計で求めた「健康づくりのための運動基準2006」における身体活動の目標値（23メッツ・時/週）に相当する歩数 体力科学 No.61, pp193-199, 2012.  
Effect of weight-loss program using self-weighing twice a day and feedback in overweight and obese subject: A randomized controlled trial. Obesity Reseach & Clinical Practice

<最近の学会発表>  
家庭での体重測定回数の違いが減量を促進するか？ - ランダム化比較試験 - 日本肥満学会 第30回大会  
健康づくりのための身体活動量の基準値（23エクササイズ）と歩数の関係 日本体力医学会 第65回大会  
加速度計を用いた身体活動量評価の信頼性・妥当性 日本体力医学会 第65回大会

趣味・特技

所属
人間社会学部 人間健康学科

所属学会

日本体力医学会，日本体育学会，日本運動生理学会，日本肥満学会，日本公衆衛生学会，アメリカスポーツ医学会

専門分野

運動生理学，運動処方

担当科目

健康生理学，健康運動科学理論，健康運動科学実習，トレーニング科学理論，トレーニング科学実習，運動指導技術演習B，野外活動演習，研究演習，研究演習，卒業研究

備考

実務経験の有無及び活用